

●とびつくす●

『お菓子の家をつくろう』 イベントに参加して

海部地域会 亀谷 加津與

1月28日(土)建築士会のイベントに参加しました。牟岐町海の総合文化センター、1階の大集会室で、牟岐小学校の生徒さんたち8名が来てくれました。

女性部が無くなりいろんな活動にも段々と足が遠のいてしまいましたが、久しぶりに懐かしい顔ぶれを見て気持ち若返った様な気がしました。

何十年前になるのでしょうか、初めて「お菓子の家を作ろう」という企画のために、自分たちでお菓子の家を作ってみた時の事を久しぶりに思い出しました。その時は、傾いた小屋のような出来栄で、我ながらテンションが下がってしまいました。

それから皆さん今まで継続して活動されていたのは、本当に素晴らしいことだと思います。何事も続けるという事はお世話される方々も大変なことだと思います。

当日の朝、丁度通り道沿いに自宅があるので、家の前で待ち合わせて、1台目に植田さん、武田さん、2台目に当日奥さんの体調を気遣って運転してくれた優しいご主人と佐田久さん、森さん、3台目に私が乗って出発しました。

到着して早速準備開始、皆さん慣れてるからか手際が良くて、私もウロチョロしながらお手伝いしましたが、いろんなお菓子が並べられると何か心もウキウキしてしまいました。

集合時間に子供たちも少し緊張気味の様子で入って来て、作業前にプロゼクターに映し出された映像から建物の出来上がっていく様子を熱心に見て、これまでの子供たちが作った「お菓子の家」を参考にしながら、思い思いに作っていました。

当日都合が悪くなった会長に代わって、副会長の木内さんが来てくださって、参加してくれた子供たちの一生懸命に作っている様子を見ながら、一人一人全く違う形の家が出来上がっていくのを感じながら見ていました。ついつい大人たちも夢中になってしまっただボイスをしたり一緒になって考えたり、2時間があっという間に過ぎてしまいました。

牟岐町の教育委員会の青木さんにも色々お手伝いしていただき、無事に楽しく終わることができたので良かったです。

これからもメンバーの方々、それぞれお忙しいでしょ

うが、頑張って続けてほしいなと思います。

後日、牟岐町教育委員会から御礼状が届きました。参加をされた方、見学をされていた方からも「楽しそう」「来年も開催してほしい」「大人でも楽しめる」といった、好評のご意見をいただけたそうです。



●地域会だより●

令和4年度 青年部県内交流会 in 鳴門

鳴門地域会 谷 紀明

昨年末の11月26日(土)に鳴門市大谷地区において、令和4年度青年部県内交流会を開催しました。鳴門の青年部長を引き受ける際、一期(2年)で退任すれば、今回の鳴門に順番が廻ってくる県内交流会の段取りから逃げられると先輩青年部長にそそのかされ青年部長になったあの日、まさか二期目を務めながらこのイベントを取り仕切ることになるとは思ってもみませんでした(汗)

不幸中の幸いにもコロナ禍で(交流会のことを不幸と言っはいけないし、コロナ禍を幸いと言ってもいけないので全部間違っています)例年のような宿泊を止めようという流れが前年の小松島・勝浦地域会からあったので、鳴門もそれに倣い日帰りのイベントとさせていただきます。

そして何をやるか考えるわけですが、これまで鳴門の増田建築に頼りすぎていたところもあり、今回は鳴門の違う面を知ってもらおうと、大谷地区に焦点を当てました。

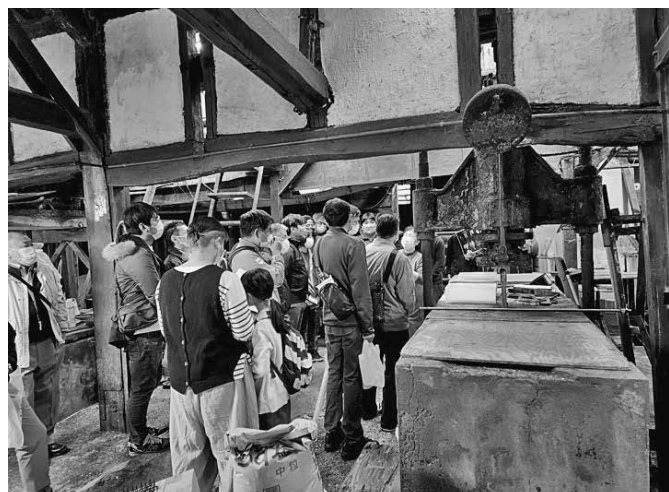
ご存じ大谷焼で有名な大谷地区ですが、それ以外にも社寺仏閣、古墳群、酒蔵と歴史を感じられるスポットがてんこ盛りです。そんな大谷を舞台にするために、大谷地区に設計事務所を構える福田頼人氏に企画の全面バックアップを依頼しました。(名前がほぼ依頼人なので)



当日、まずは宮内庁管理の土御門天皇火葬塚を見学しました。結構頻りに前の道を車で通っているにも拘らず、ここに火葬塚があることをこの日まで知りませんでした(汗)

引き続き阿波神社、県内最古の神社である宇志比古神社を散策、大谷焼の水琴窟を体験し、福壽醤油では醤油の製造過程を見学しました。

醤油が製造される過程を知ること、普段親しんでいる醤油の奥深さを知ることが出来ました。製造には蔵に生息する菌が必要とのことで、綺麗に掃除したり改修したりすると、味が変わってしまうとのことでした。



最後は鳴門鯛本家松浦酒造で蔵の見学。蔵の改修中だったこともあり、小屋組の牛梁を取替えた苦労話なんかを聞くことが出来ました。

そのまま、普段松浦酒造さんが開催されている「たちきゅう」(※たちきゅうとは約30種の日本酒や希少な蔵限定酒を1コイン500円で楽しめるお得なイベント)形式でお酒を呑みながら懇親を深め、楽しい会を締めくくりました。



●あなたが出番●

もう一つの『ものづくり』

鳴門地域会 隠岐 昌紀

いつもは衣・食・住の内、住である建築を生業として「ものづくり」をしています。丁度1年前から食である農業という「ものづくり」を行う機会を得て、興味もあり、また当時の世間の状況から外にはあまり出かけられないので、空いた時間をつかって15坪程度の広さの畑を始めました。まあいわゆる家庭菜園ですが(笑)。

耕すには、当然機械類などないので鍬等でおこなったのですが、土地が小高い斜面の切土に位置しているのどにかく固い。地質は基本砂地なのですが石がゴロゴロ出てきます。何故か瓦やコクリートガラまで。2坪程度をそれなりにするのに丸2日かかりました。かなりの重労働ですので、五十路の体にはこたえます。



とりあえず2坪位の畑が出来たところで、鳴門金時の苗と枝豆の種を植えてみました。当然初心者なのですが、水やりや追肥のタイミング等はインターネットで大体調べることができます。芽が出て、葉が伸びて、余分な脇芽を摘み害虫を駆除します。その期間に他の部分を耕して、新たに違う作物を植える。夏は水やりの回数が多く結構大変ですね。成長が速いのですが、当然雑草の成長も速くそれは何故か倍速です。スイカを植えたのですが、獣害に悩まされました。始めは狸と思ひ侵入防止ネットをしたのですが、実はカラスでした。それはそうと皆さん知ってますか？種無しスイカは種のあるスイカと一緒に育てその雄しべの花粉がないと受粉出来ずに実ができないって。

色々失敗もしました。メロンを植えてみたのですが結局1玉しかできずなぜか甘味がない。きゅうりは植えずぎて最盛期は食べきれずに腐らせました。妻の職場で



かなりの量を配ってもらったのですが。ナスや中玉トマトは葉ばかり育って出来自体があまりよくありませんでした。水や追肥が足らなかったのかもしれない。里芋は枯れてしまいました。土質が合わなかったのかもしれない。結構海風がきついところな

ので、折れたりもしました。去年の11月末にスナップエンドウを植えたのですが、凍害で少し枯れてしまいました。また本業が忙しくてちょっとサボっていたら、畑が雑草ですごい状態になっていました。

『ものづくり』は楽をしたり、無計画に進めては何事もうまいかないってことを再認識させられました。こじつけにはなりますが、本業もそうです。お客様としっかりと打ち合わせをし、図面をおこし建築していく。最後に引き渡して喜んでいただく。作物も当然、愛着がわきますし結果が出た時の喜びも同じです。そしてもう一つ、最後に飲むお酒が最高です。

この文章を執筆中にこれからの季節に向けて土作りを初めました。去年は苗がメインだったのですが、なるべく種からチャレンジする予定です。

みなさんも違う『ものづくり』やってみませんか？結構ストレス発散になりますよ。



●行政だよりー徳島市●

長期優良住宅の認定基準の見直し

令和4年10月1日から徳島市では長期優良住宅の認定基準に「自然災害による被害の発生防止又は軽減に配慮する基準」を追加します。次の区域に建築する住宅は、認定できませんので、ご注意ください。詳しくは市ホームページをご覧ください。

- ・地すべり防止区域
- ・急傾斜地崩壊危険区域
- ・土砂災害特別警戒区域

なお、各区域については「徳島県水防・砂防防災マップ」により調べることができます。

●士会だよりー本部●

建築士会ホームページにおける「会員の方へ」のページのご案内

士会ホームページは昨年にリニューアルし、現在運用しているところですが、ここには、会員専用となる「会員の方へ」のページを設けております。

掲載内容は、「地域会名簿」「支部役員名簿」「徳島県建築とさわ会」「建築士会まちづくりハウス」「阿波まちかどバックナンバー」「まち研だよりバックナンバー」です。

パスワードは本部又は支部事務局までお問い合わせください。(パスワードは会員外の方に教えることはご遠慮ください)一定期間を過ぎますと更新する場合がありますので、その際には支部事務局へご連絡させていただきます。

●建築士クイズ●

「建築士の日」は何月何日でしょうか。(答えは、ネットで検索してください)

●寄稿 世界の家●

スペインの農家

スペインの農家の特徴は明快だ。壁は白く瓦は茶のいわゆるスパニッシュ瓦だ。一時日本でも流行った。太陽の強い国では壁の陰影

がくっきりとしていて、いかにも南国を感じさせる。

よく見るとスペインらしさを感じるのは瓦のせいだけではない。まず窓に雨戸がないことが壁をスッキリと見せている。壁に穴を穿ったように窓があり、熱い直射日光が入らないようになっている。雨戸が無いのは台風が来ないからか？市街地のアパートには両開きの錠戸があるが、あれは暴風のためというよりも防犯のためなのかも。

また、軒先に雨樋がなく、もちろん堅樋もない。これも壁面をシンプルに美しく見せるのに役だっている。スペインは降水量が少ない。年間400ミリほどで、日本の三分の一である。またジトジトとは降らずスコールのようにどっと降る。スコールに雨樋は役立たない。だから雨樋が無いのだろう。またそのせいか軒の出も小さい。

1階の窓には必ず丈夫な鉄格子が入っている。これは農家に限らず市街地のオフィスなども同じだ。きっと裏町でナイフを使わせたらず上手そうな連中が沢山いるのだろう。



スペインの家
窓が小さく軒の出が短い
1階の窓には鉄格子が入っている。

編集後記

- ・おっさん4人で飲んでいたら、たまたま映画の話になって、「キャサリン・ロスは可愛いかったなあ」と言ったら、賛同の嵐が吹き荒れた。(ノーリツ号)
- ・いっぱい吐いてよ！(ぺべい)
- ・私も昔は可愛かった笑(ひとはたうさぎ)
- ・どくはいてもいいですか？(酎西)

建築士会本部行事

令和5年4月		令和5年5月	
12日(水) 建築相談 (士会会議室)		9日(水) 監査・理事会 (建設センター)	
26日(水) 建築相談 (士会会議室)		10日(水) 建築相談 (士会会議室)	
		24日(水) 建築相談 (士会会議室)	
		27日(土) 総会(予定) (ザ・グランドパレス徳島)	

※ 木造住宅耐震相談は、平日の午後1時から午後4時まで実施しています。
※ 建築相談は第2・第4水曜日の午後1時・2時・3時(相談時間は1時間以内)に実施しています(要予約)。

発行所
公益社団法人 徳島県建築士会
〒770-0931 徳島市富田浜2丁目10番地
建設センター5F
[TEL] 088-653-7570 [FAX] 088-624-1710
[MAIL] tokuarc-honb@diary.ocn.ne.jp